

英国漁船の海難事故から学ぶ

漁業生産工学部

研究の背景・目的

我が国では、漁業の災害発生率が高く、これらの安全対策が急務です。外国の事故事例から学び、我が国漁船の操業安全に活かすことを目的として、英国海事局海難事故調査部が公表する事故調査報告を調査研究しました。

研究成果

英国の海難事故調査報告（MAIB レポート*1）のうち漁船の事故例を和訳して海洋水産エンジニアリング誌に連載しました（下表）。本調査報告の目的は、事故の経過と要因を詳細に調査分析して得られた教訓を関係者に周知し再発を防止することです。海難事故は、船体や搭載機器の不具合などの物的要因と知識不足・訓練不足などの人的要因が複数複合して起こっています。安全対策として、事故に至る要因を事前に無くしておくことは勿論、火災や浸水の発生後であってもその被害を拡大させない適切な緊急対応も重要です。英国漁船員は、海上サバイバル、消火、応急手当など安全に係る基本的な訓練コースの受講が必須で、また、船主・船長には、リスクアセスメントおよび船上訓練など乗組員への安全教育の定期的な実施を義務づけています。ライフジャケット着用の習慣化など安全意識の向上が課題である点は日英とも共通です。

波及効果

安全のためには、どこに危険が潜んでいるか、何をしたら危険か、何をしなかったら危険かなど、日々の気配りが大切です。常に”安全第一”が最優先です。

MAIBレポート NO.	翻訳記事掲 載先*2	漁業種	漁船 (乗組員数)	事故の経過	特記事項
NO.5/2016	2017年3月号	底びき網	鋼製163GT (5)	海底にツインク 漁具根掛り、大傾斜、浸水・沈没、救命筏進水、全員救助	曳索を切断すれば安全を確保
NO.22/2016	2017年5月号	籠延縄	FRP製27GT (2)	投縄に絡まり海中転落、本船は無人航行後に座礁、2名犠牲	AISoff、浮遊具未着用
NO.5/2017	2017年7月号	桁びき網	鋼製192GT (7)	安全具未装着で舷外作業中に1名海中転落、救難用ヘリで搬送後死亡	浮遊具未着用
NO.20/2013	2017年9月号	底びき網	木製37GT (4)	配管から漏油、機関室から出火、ヘリで全員救出	緊急対応が不適切、消火訓練未実施
NO.27/2014	2017年11月号	底びき網	木製168GT (4)	減速機制御ケーブル不良、岸壁に衝突、浸水・沈没	隔壁が非水密構造
NO.21/2014	2018年3月号	底びき網	鋼製18GT (2)	ビームロール揚収時に両舷の不均衡荷重、転覆・沈没、救命筏進水、全員救出	浮遊具未着用
NO.15/2017	2018年5月号	底びき網	木製73GT (6)	海底にツインク 漁具根掛り、船尾のガイドボールが頭部直撃、救難用ヘリで搬送、1名重症	ガイドボール設備の摩耗劣化、ヘルメット・浮遊具とも未着用
NO.2/2018	2018年7月号	—	鋼製144GT (4)	漁船とレジャーボート（FRP製0.75GT,4名）が接触、ボートが転覆、ボートの乗員4名が犠牲	見張り不十分、ボートの航海灯不備・浮遊具未着用
NO.27/2012	2018年9月号	底びき網	木製202GT (5)	機関室から出火、救命筏進水、ヘリで全員救助	火災警報システム不具合、緊急対応が不適切
NO.10/2018	2018年11月号	底びき網	鋼製268GT (5)	ツインク トロール板揚収時に船底損傷、船尾区画から浸水、沈没、救命艇が全員救助	緊急対応が不適切、損傷時の復原性影響

*1 Marine Accident Investigation Branch Report, https://www.gov.uk/maib-reports?vessel_type%5B%5D=fishing-vessel

*2 海洋水産エンジニアリング、海洋水産システム協会

（漁船工学グループ：長谷川勝男）